

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
キャリア教育 (進路指導部)	①進路情報の的確な発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路だより」の発行 ・講演会、説明会の実施 ・卒業生の合格体験記のHP掲載 ・卒業生の合格体験交流会の実施 ・卒業生の学部学科説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、進路についての情報を、よく提供している。」というアンケートで、8割以上が「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそのとおりだと思う」と回答する。
	②個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・探究情報部と連携した学びみらいPASSによる生徒の適性の把握 ・進路希望調査の実施 ・担任面談の実施 ・進路検討会の実施 ・看護ガイダンスの実施 ・補習、特別講座の実施 ・個別指導(英作文、小論文、面接等)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、生徒の希望と適性を活かした、適切な進路指導を行っている。」というアンケートで、8割以上が「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそのとおりだと思う」と回答する。
キャリア教育 (探究情報部)	①「総合的な探究の時間」によるキャリア意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・探究プロセス(課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現)を意識した指導に努める。 ・キャリア教育コーディネーターとの連携を密にする。 ・地域社会と連携し、社会人講話や学校外調査などの体験的な活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間を通して、自らの進路や将来を見通したり、つなげたりする機会となり、自己の強みや興味関心を理解し、新たな発見をする機会になったか」というアンケートで7割の生徒が、「かなりそう思う」または、「少しそう思う」と回答する。
生徒会活動 (生徒会部)	①生徒が主体的に取り組める部活動・学校行事の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の準備に積極的に取り組ませる。また、積極的に入部を勧誘して、部活動への参加を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が積極的に生徒会行事に取り組み、球技大会、南高祭などの学校行事で充実感を得る。また、部活動の登録人数が全体の90%を超え、多くの部活動が県大会に出場する。
生活指導 (生徒指導部)	①規範意識と自己指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝交通安全指導の実施 ・警察による交通安全講話の実施 ・学年単位の交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の合羽未着用者のチェック指導を引き続き実施し、合羽着用の徹底を図る。 ・自転車用ヘルメットの着用を推奨し、着用率を向上させる。
	②いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・いじめの早期発見、事案への適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携して、「スマホ・携帯・PC使用ガイドライン10」の遵守を呼びかけ、ネットマナー確立に取り組む。 ・ネットパトロールによる監視を行い、不適切な投稿等の早期発見に努める。 ・学校生活環境調査を実施し、生徒の学校生活における諸課題を早期に収集し、いじめなどの重大事案の早期発見、適切な対応に結び付ける。
学校保健 (保健厚生部)	①健康保持と安定した学校生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施。 ・救急蘇生講習会の実施。 ・「保健だより」の作成。 ・「命のサポートプログラム」の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は生徒の健康管理に取り組んでいる」という生徒・保護者向けのアンケートで、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
	②相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業明けに「心と体のストレスチェックアンケート」を実施。 ・相談委員会の実施。 ・SCやSSWとの連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの「学校には、悩みなどの相談に乗ってくれる先生が多くいて安心できる」で、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
	③安心・安全な学校環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の健康チェック。 ・感染症予防対策の実施。 ・清掃点検の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「校舎などの施設は、衛生的に管理されている」という生徒・保護者向けのアンケートで、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
多忙化解消 (管理職)	①ICTの活用による超過勤務時間の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・退校時間の厳守 ・考査時間を利用した、早めの退校時間の設定 ・会議の実施の有無の見直し ・業務の見直しと再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時、午後7時30分校舎施錠を徹底する。 ・長期休業、考査期間中の早めの校舎施錠を徹底する。 ・休暇取得の呼びかけを、時機を得て繰り返す。 ・業務の見直しと効率化を図り、教職員の負担を軽減する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による主体的・探究的な学びの推進について ・高い志を育むキャリア教育の充実について ・心身ともに健康で、豊かな人間性を持つ生徒の育成について ・働き方改革の進行状況について 	